



## 子牛の下痢・カゼ対策は十分ですか！

9月号に続き、2回目となった「子牛の下痢・カゼ対策」について、今回も考えてみたいと思います。健康な子牛を市場に上場するために、しっかりとした衛生対策を実施しましょう。

### ● 子牛の下痢・カゼ対策 (No. 2)

#### ■ 下痢について

子牛の下痢には、消化不良などの単純な下痢と感染性の下痢があります。

- 1) 単純な下痢の原因：母乳の飲み過ぎによる消化不良、母乳の異常など
- 2) 感染性下痢の原因：病原性細菌・ウイルスの感染

いずれの場合も異常の早期発見・治療など適切な飼養管理に努めるとともに、牛舎環境を清潔に保つことが重要です。

感染性下痢の場合は、ワクチンによる予防も効果的です。

#### ■ カゼ（呼吸器病）について

呼吸器病の発生の機序は、

- アンモニア（畜舎の除糞が不十分）、塵埃などにより気管の粘膜が痛む
- ウイルス等が気管粘膜に感染→細菌が肺に感染
- 肺炎が発症する

呼吸器病の対策には、ワクチンによる予防や抗生物質を用いた治療等が効果的です。

#### ■ 初乳の確実な給与

子牛が生まれたら「**子牛が** 初乳を飲んでいるか？」必ず、確認しましょう！

初乳には、病気を防ぐための物質（免疫）がたくさん含まれています。

しかし、子牛は、生まれてから時間が経つとこの物質を吸収することが難しくなってしまいます（生後6時間で吸収率は半分）。

そこで、初乳はできるだけ早く（できれば1~2時間以内）飲ませることが重要です。

<初乳を飲まない場合>

- 1) 保存初乳を与える（酪農家からもらい冷凍保存。溶かすときは57℃以下のぬるま湯で！）
- 2) 人工初乳を与える（市販されています）

生後1時間以内に哺乳ビンやストマックチューブで約1リットル程度を飲ませてください。

またミルクを与えた後、直ぐに水を与えるとミルクと間違えて大量に飲む子牛がいますから、ミルクを与えた後は、10分後ぐらいしてから与えてください。

ご不明な点は、城南家畜保健衛生所まで

TEL 0966-22-3814 FAX 0966-22-3617